

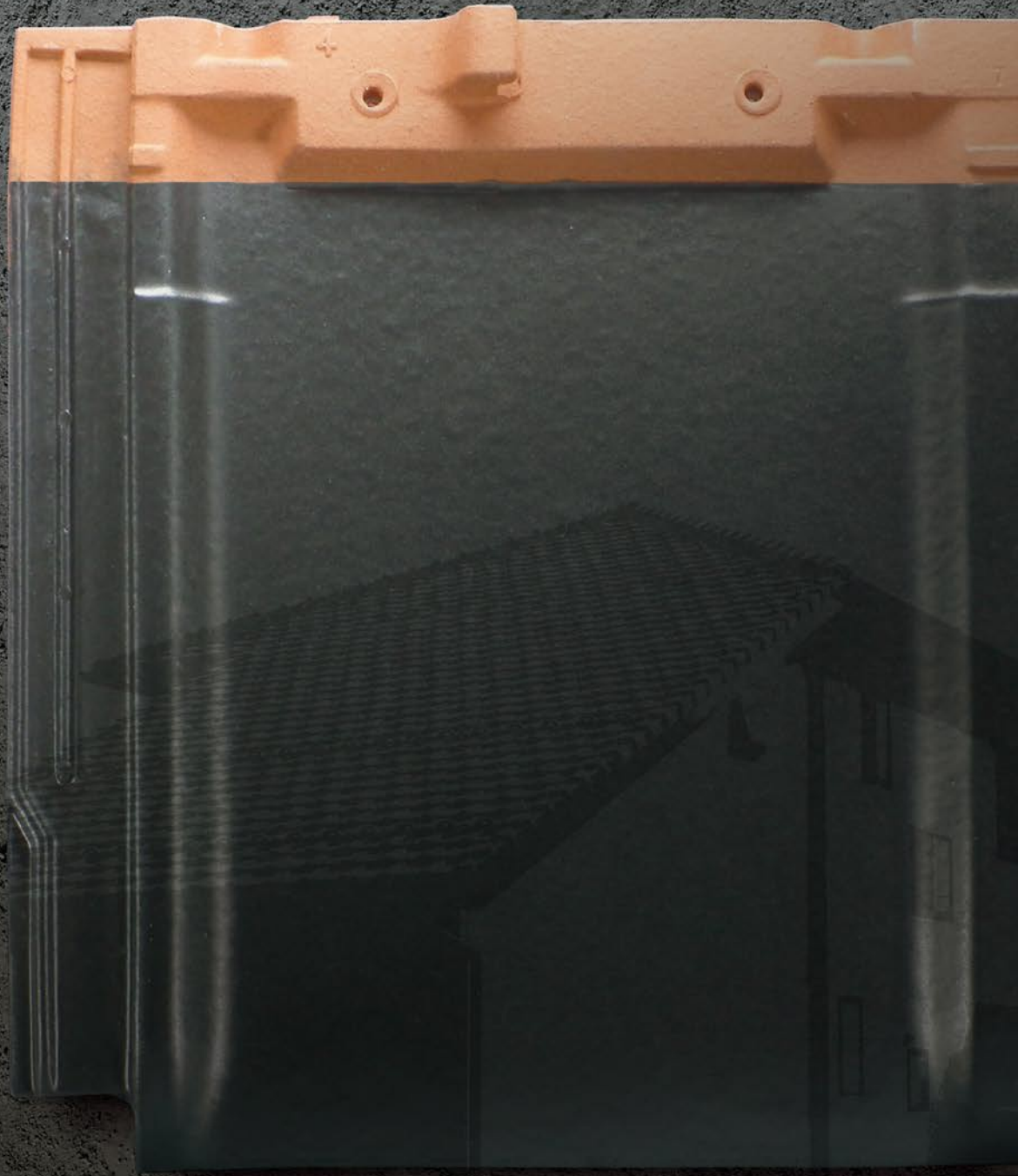
長期使用部材基準適合製品



平板瓦 | N-FU

石州のF 丸惣のF 防災瓦

# ニューセラフ Uタイプ



物に心を



株式会社丸惣

# 丸惣70年の技と防災性能を備えた、 高い耐久性を持つ平板瓦です。

丸惣の提案 平板瓦の共通化・標準化(Cjk部材)に対応 / 300g以上の軽量化を達成

## Cjk部材について

●長期使用対応部材(Cjk部材)基準適合製品  
長期使用住宅部材標準化推進協議会の定める長期使用対応部材(Cjk部材)の基準書[粘土瓦(F型棧がわら)]の基準適合製品です。



瓦の裏側にあるCjkマーク

●長期使用対応部材(Cjk部材)とは

長期にわたってメンテナンスを容易にする為に交互性を持たせた部品・部材です。当部材は、経済産業省の研究会の提言に基づき、住宅部品・部材の標準(共通)化の推進団体として設立された「長期使用住宅部材標準化推進協議会(長住協)」により定められています。

## 耐風性能

上下の瓦を防災フックで固定し、なおかつ施工のしやすいフック形状で、耐風性能を有し、働き長さが270~285mmで調整できます。



## 防水性能

Uタイプの特徴を活かし、水上立上りの高さを13mmとしました。また、立上り部を平坦にすることにより土埃の進入・残留を防ぎ、水の誘導を防止しました。

13mm

## カラー バリエーション

千鳥葺きの魅力が景観にとけ込む  
スタンダードな色合い。



常備色 銀黒(ぎんぐろ)



常備色 マットブラック



常備色 マットブラウン



※写真は印刷色のため、瓦の色を忠実に再現できない場合があります。

◎寸法の共通化・標準化に伴い、周辺資材へ適応します。



## ガラス瓦

平板用のガラス瓦に対応しています。瓦を葺く感覚で明かりが採れます。



## 太陽光用支持瓦

太陽光設置用支持瓦に対応しています。今や新築の70%の屋根に太陽光が設置されています。瓦を加工することなく、支持瓦を利用して設置できます。

◎様々なシーンに活用できる瓦をご用意しております。



## 雪止め瓦 雪止め金具

同質雪止め、雪止め金具を用意しております。

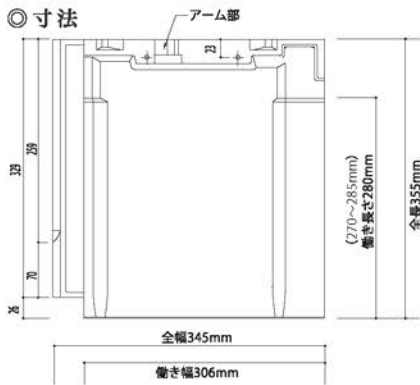


## 半瓦

半瓦の使用により、施工性がアップします。

## ■ 棧瓦

### ◎ 寸法



### ◎ 製品概要

寸法	長さ	355mm(±4mm)
	幅	345mm(±4mm)
	働き長さ	280mm(±4mm) (270~285mm)
	働き幅	306mm(±4mm)
葺き枚数	12枚/㎡・40枚/坪	
重量	3.8kg/枚 45.6kg/㎡	
使用可能勾配 4寸以上		

### ◎ 物性概要

項目	試験結果
曲げ破壊強度	2,300N以上
吸水率	6.0%以下
凍害試験	25回の繰り返しで異常なし
耐薬品試験	異常なし

### ◎ 標準屋根勾配

標準屋根勾配と流れ長さ	勾配	長さ(m)			
		4.0	4.5	5.0	6.0
長さ(m)		8	10	12	18

※この性能値は保証値ではありません。実際の施工時には、地域や建築物の種類等を考慮し、下地に注意して下さい。

## ■ 役瓦

### ●ケラバ(右)

全長320/働き足280



### ●ケラバ(左)

全長320/働き足280



### ●長ケラバ(右)

全長445



### ●長ケラバ(左)

全長445



### ●ケラバ角(右)

全長300/働き足280



### ●ケラバ角(左)

全長300/働き足280



### ●三角冠 棟瓦

全長350x全巾250/働き長305



### ●三角冠 棟止瓦紐付

全長365x全巾250/働き長305



### ●三角冠 棟止瓦紐無

全長300x全巾250/働き長295



### ●三角冠 棟瓦カッポン

全長410x全巾250



### ●三角冠 棟瓦三つ又

全長430x全巾250



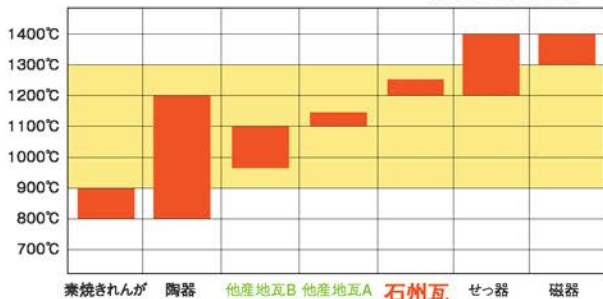
その他役瓦、資材についてはお問い合わせください。

## 長期耐久性住宅対応のクオリティー

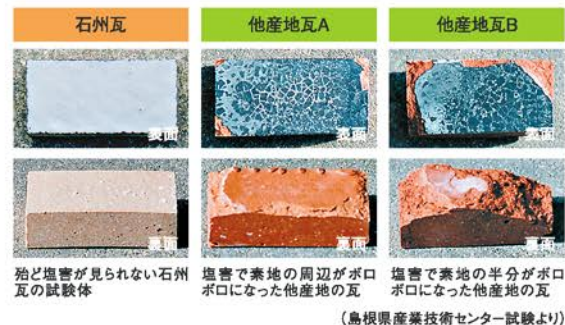
石州瓦最大の特性は寒さや塩害に強く、丈夫で割れにくいこと。100年住宅、200年住宅に必須の屋根材製品です。その秘密は陶器瓦の焼成温度が日本最高の1200度以上であること。それが高級ブランド「石州」の誇りです。だから屋根替えリフォームにも自信を持ってお勧めいたします。

### ■ 焼成温度の比較

(石州瓦工業組合調べ)



### ■ 塩害試験 (試験体の写真は25m/m×50m/mの瓦カットサンプル)



### < 安全に関するご注意 >

●粘土瓦の施工には専門の工事が必要です。専門工事業者にご相談ください。工事に不備があると、落下・雨漏り等の原因になることがあります。  
●寒冷積雪地域或いは強風地域では、特殊な工事が必要とする場合があります。こうした地域で粘土瓦を使う場合には、専門工事業者にご相談ください。  
●粘土瓦を使った屋根は、関連する工事標準仕様書に基づいて設計してください。特殊な設計を行う場合は、専門工事業者にご相談ください。

### < 粘土瓦の特性について >

粘土瓦は天然のため、下記のような現象が発生する場合がありますが、製品欠陥ではなく品質上の問題はまったくありませんので安心してご使用ください。【色ムラ】粘土成分の微妙な違いや、焼成窯内の環境の変化により微妙な色合いが発生することがありますが、品質上の問題はありません。【貫入】釉薬表面に発生する細かい亀裂を貫入といいますが、これは、粘土と釉薬の収縮率の違いから生まれる自然現象であり、品質上の問題はなりません。【ピンホール】釉薬表面に発生する小さなへこみをピンホールといいますが、これは、釉薬の気泡や粘土に含まれている有機物が焼成によって消滅することで生まれますが品質上の問題はなりません。

物に心を



株式会社 丸惣

本社 〒695-0024 島根県江津市二宮町神主1820番地5  
TEL.0855-53-0811 <http://www.kawara.co.jp>



2018.1.5000